

# 長野県埋蔵文化財センター ニュース

## みすずかる

平成 17 年 3 月 18 日発行

### 弥生時代の墓から鉄釧が出土！

#### 西一里塚遺跡

佐久市岩村田 平塚

西一里塚遺跡は、千曲川流域で最初に発見された弥生時代後期（約 1800 年前）の環濠集落（ほりに囲まれたムラ）です。

ところが今回の発掘調査では、円形周溝墓（円形の溝に囲まれた墓）や土器棺墓といった弥生時代の墓が多く見つかりました。そのうち、木棺がおさめられていたと思われる墓からは装身具の鉄釧（鉄の腕輪）やガラス小玉が、円形周溝墓の主体部（埋葬施設）からはお供えに使った高杯や、武器である鉄剣なども出土しています。

このほか、住居跡の床下の穴からは注口土器、遺構の外からは土偶など、この時代としてはめずらしい遺物も出土しています。（上田 真）



遺構の外から出土した土偶



鉄釧・ガラス小玉が出土した墓



出土した鉄釧

# 土器を用いた弥生時代の墓

## 峯謡坂遺跡

千曲市八幡謡坂

今年の調査では、壺に骨をおさめて穴に埋葬した弥生時代前期（約 2500 年前）の墓と、壺と甕を合わせて棺とし、そのなかに遺体を埋葬したと思われる弥生時代後期（約 1800 年前）の墓が見つかりました。調査区の近くには古墳もあります。千曲川など平地をのぞむ尾根には、どのようなひとが埋葬されたのでしょうか。（河西克造）



弥生時代前期の墓



壺と甕を合わせて棺とした弥生時代後期の墓

# 丁寧に副葬された江戸時代の鏡

## 石子原遺跡

飯田市山本

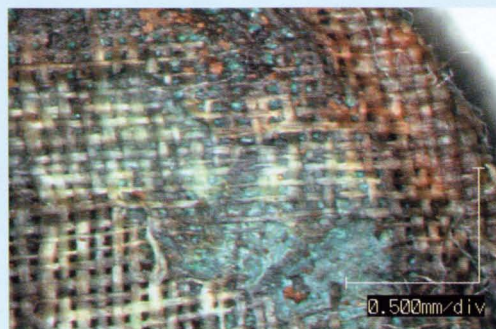
鏡面の直径約 6 cm（2 寸）、柄の長さ 6 cm の銅製の鏡、柄には籐の様なものが丁寧に巻かれていました。この鏡、非常に大切に扱われていたことが出土状態からわかります。鏡の両面には薄い布の痕跡が見えました。鏡を取上げると、そこには鏡の形にやや厚い布が残っており、その布を取りさると、土に貼りつくように、紙が残っていました。これは鉄や銅の錆の影響を受けて残ったものと考えられます。

薄い布、厚い布、紙の順に三重に巻いて他の遺物と一緒に墓に入れていたのです。残されていた紙に赤外線をあてて観察すると文字が鮮明に確認されました。

今後このお墓に埋葬された人の情報が読み取れるかもしれません。（石上周蔵）



17号墓から出土した柄鏡



鏡に付着した布を拡大したもの

# 黒曜石のムラを発見

## 駒形遺跡

茅野市米沢北大塩

黒曜石の原産地霧ヶ峰の南麓を<sup>ひのきさわ</sup> 松沢川沿いに山を下り終えると、目の前に台地が広がります。ここが駒形遺跡です。石器の材料として重要な黒曜石の原石と石器、剥片が大量に出土したことから、黒曜石のもちこみと石器製作が行われていたことが考えられます。

多量の石鏃<sup>せきぞく</sup>のほか、石匙<sup>いし</sup>やスクレーパー<sup>さじ</sup>などの黒曜石製石器や石鏃の未製品と思われる不正形な石器も出土しています。縄文時代前期の<sup>たてあな</sup> 竪穴住居跡 22 軒、<sup>ほうけいちゅうけつ</sup> 方形柱穴列 3 棟などが発見され、今回の調査区は縄文前期初頭～前葉の黒曜石に深くかかわったムラであるといえそうです。(小林秀行)



黒曜石の原石と石器

## 整理作業の窓から

# 漢字を書く

## 社宮司遺跡

千曲市八幡

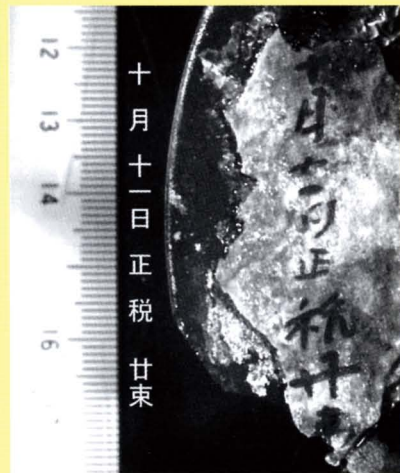
今から 1200 年ほど前、人々は、さまざまなノートに漢字を書いていました。とても古い時代のことなので、漢字を書いた資料は、ほとんど残っていません。

それでも、ごくまれに墨<sup>すみ</sup>を使って、土器の外がわに書きこんだもの、油紙<sup>あぶらがみ</sup>に書いたものなどが残ることがあります。社宮司遺跡の土器には「八千」、「秋」、「坂主」と書いた文字があります。油紙は漆<sup>うるし</sup>の入った容器のふた紙として使用されていたもので、漆紙<sup>うるしがみ</sup>と呼ばれています。「十月十一日正税 廿束」という 9 つの文字が書き込まれています。その日に税金として稲のたばを 20 束おさめたという記録のようです。

(町田勝則)



社宮司遺跡の墨書土器



漆紙文書 (赤外線カメラにより撮影)

## 速報展から

### ご先祖様との接し方 (集落と墓の変遷)

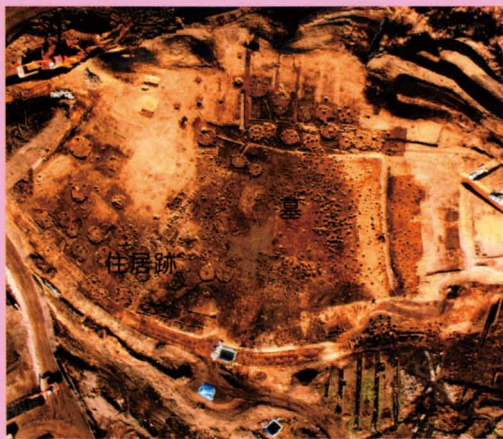


ムラのどこからでも見えた森將軍塚古墳

みなさんは、自分のひいお爺さんやひいお祖母さんの話を聞いたことがありますか。さらに四代・五代、そのまた前の世代の人たちを知っていますか。現代にくらす多くの人たちは、特別な家系でもない限り、あまり気にしていないのかも知れません。

ところが、いつの時代もそうだったとは限りません。それぞれの時代、自分のご先祖様とどのように接し、語らいあってきたのでしょうか。それを推測するには、住んでいる場所とお墓の位置関係が鍵の一つになります。(どのような“鍵”か?それは会場で…)

今回の展示では、ムラとお墓の関係についてのコーナーを設けました。わからなくなってしまった遠い世代の人々と語り合えるのが考古学の世界です。ぜひ、この機会に足を運んでみて下さい。(寺内隆夫)



お墓を囲み亡き人々と共に暮らす縄文ムラ  
(聖石遺跡)

## 埋文告知板

### <長野県の遺跡発掘2004>

#### 長野県埋蔵文化財センター速報展 開催のお知らせ

土の下からのメッセージに耳をかたむけてみませんか。長野県立歴史館と伊那文化会館において平成16年度長野県埋蔵文化財センターで調査した遺跡の速報展が開催されます。足を運んでいただけたら幸いです。

#### 長野県立歴史館

2005年3月19日(土)～5月8日(日)  
休館日3月22日(火) 28日(月)  
4月4日(月) 25日(月)

入場料 一般300円(団体割引、学生料金有 なお、土日祝日は小中高生は無料)

#### 長野県伊那文化会館

2005年7月20日(水)～7月31日(日)  
休館日7月25日(月)

入場無料

#### 【講演会】

設楽博己氏 駒澤大学文学部助教授  
「弥生時代における漢文化の影響」

日時 4月10日(日) 14:30～16:00  
会場 長野県立歴史館 講堂

#### 【調査報告会】

長野県立歴史館会場

日時 4月10日(日) 13:00～14:20

長野県伊那文化会館会場

日時 7月30日(土) 13:00～14:20

#### 野帳

近年まれにみる寒波と豪雪に見舞われた厳しい冬もようやく去り、春をむかえようとしています。「みずずかる」第3号では、今年度調査されたものなかから、墓に関する資料を中心にとりあげてみました。

歴史館では3月19日より速報展が開催され、これらの資料があますところなく展示されます。足をはこんでいただきご覧いただければ幸いと存じます。(入沢昌基)

(財)長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007

長野市篠ノ井布施高田963-4

TEL 026-293-5926 FAX 026-293-8157

E-mail maibun@grn.janis.or.jp

HP <http://www.grn.janis.or.jp/~maibun/>